

実践女子大学図書館蔵浄瑠璃本目録

黒石陽子
神津武男

本稿は平成十三年現在、実践女子大学図書館に所蔵されている浄瑠璃本の目録である。本学図書館に収蔵されている浄瑠璃本は、義太夫節の正本と義太夫節以外の浄瑠璃正本あわせて三百六十点に及ぶ。既にこのうちの一部については目録化されているが、目録作成以降購入収蔵されたものも多くあるので、今回その全貌についての目録を作成した。

目録作成にあたっては日本学術振興会特別研究員の神津武男氏に全面的な協力を得た。氏は日本全国の図書館等に収蔵されている浄瑠璃正本の調査を長年にわたって行われており、浄瑠璃正本の諸本研究を進められている。今回の目録化にあたっては、単なる浄瑠璃本の目録化にとどまら

ず、浄瑠璃本一本一本の、諸本の中における位置づけを考慮された。したがって、本学図書館の所蔵する浄瑠璃本の書誌的な位置づけも示されることになろう。

ここで浄瑠璃本が図書館に収蔵されるまでの経緯について簡単に述べておく。

昭和二十年代のはじめに、何本かの浄瑠璃正本が図書館に請け入れられているが、大部のコレクションとして請け入れが始まるのは昭和三十五年以降である。昭和三十六年には百冊余りの浄瑠璃本が入り、昭和四十年代に入って二百冊近くが請け入れられている。これは当時在職されていた守随憲治氏の御尽力によるものと思われる。その後昭和五十年代以降現在までに五十冊余りが請け入れられてい

る。

このうち後掲の【義太夫節の部】目録169「豊年秋の田」は、これまで天理図書館所蔵の一本のみが知られていたが、当館所蔵の一本の存在が明らかになった。また【義太夫節以外の部】目録3「鶯宿梅」9「蝶の舎」10「宮古路魂桜」11「宮古路花筏」12「宮園東大全」はいずれも秋葉文庫旧蔵本であり、特にこのうち3、10、12についてはこれまで所在が不明とされてきたものである。これらについては目録中の神津氏の考証を参照されたい。

なお本稿をなすにあたり、実践女子大学文学芸資料研究所の上野英子氏、実践女子大学図書館の土居道子氏にご教示をいただいた。記して感謝申し上げる。

(文責 黒石)

【凡例】

- 1、同館の所蔵する浄瑠璃本（ただし抜き本、いわゆる稽古本を除く）360点のリストである。作品名を内題によって記し（角書は省略した）、請求記号（あわせて登録番号を（ ）内に示した）・行数・板元を示した。
- 2、排列は、義太夫節とそれ以外とに大別した。
- 3、作品ごと（214タイトル）にまとめ、五十音順に掲出した。
- 4、同一作品で、異なる行数（一頁あたり）の本がある場

合は、行数の少ない方から並べた。

- 5、行数の後のアルファベット（A B C ……）は、異板の状況によって分類し、便宜的に付したものである。原則としてAは本文が初刻本の系統であることを示し、B以下は改修されたり、再板であることを意味する。その詳細については必要に応じて備考の項（※）で述べる。
- 6、板元については、奥付に記載された書肆名を示した（住所の詳細は略すが、所在地を（ ）内に示した。（大）は大坂、（京）は京都、（江）は江戸、の意）。なお同じ組み合わせの二軒以上の連名で、複数点みえるものは、以下の略号を用いる。

〈奥付略号〉

- 【加島屋①】↓山本九葉亭（大）・玉水源治郎（大）・紙屋与右衛門（大）・今井七郎兵衛（京）・松本平助（江）・加島屋清助（大）
- 【加島屋②】↓山本九葉亭（大）・玉水源次郎（大）・紙屋与右衛門（大）・今井七郎兵衛（京）・松本平助（江）・加島屋清助（大）
- 【加島屋③】↓西沢九葉軒（大）・玉水源治郎（大）・紙屋与右衛門（大）・今井七郎兵衛（京）・松本平助（江）・加島屋清助（大）
- 【紙屋与右衛門】↓西沢九葉軒（大）・玉水源治郎（大）・今井七郎兵衛（京）・松本平助（江）・紙屋与右衛門（大）

- 【吉川宗兵衛】↓山本九兵衛（京）・吉川宗兵衛（大）・
鱗形屋孫兵衛（江）
- 【佐々井治郎右衛門】↓佐々井治郎右衛門（大）・山崎金
兵衛（江）・鱗形屋孫兵衛（江）
- 【正本屋小兵衛】↓正本屋小兵衛（大）・鱗形屋孫兵衛
（江）
- 【鶴屋喜右衛門】↓鶴屋喜右衛門（江）・鶴屋喜右衛門
（京）
- 【天満屋①】↓山本九兵衛（京）・鱗形屋孫兵衛（江）・
天満屋源治郎（大）
- 【天満屋②】↓山本九葉亭（大）・今井七郎兵衛（京）・
松本平助（江）・玉水源治郎（大）
- 【天満屋③】↓西沢九葉軒（大）・今井七郎兵衛（京）・
松本平助（江）・玉水源治郎（大）
- 【西沢九左衛門】↓鱗形屋孫兵衛（江）・西沢九左衛門
（大）
- 【菱屋治兵衛】↓菱屋治兵衛（京）・鱗形屋孫兵衛（江）
- 【山本九右衛門①】↓山本九兵衛（京）・山本九右衛門
（大）
- 【山本九右衛門②】↓山本九兵衛（京）・山本九右衛門
（大）・鱗形屋孫兵衛（江）

【義太夫節の部】

1 嗚呼忠臣楠氏箴

①912.4.A11 (062556) 七行C：鱗形屋孫兵衛(江)・

阿波屋平七(大)

※同作七行本には、未改修本(八十三才2「悠々と歩行寄。」、八十六才3「彈福が例を」)(A)と、第一次改修本(八十三才2「飛石伝い歩行寄。」と埋木、後者はそのまま)(B)と、第二次改修本(さらに八十六才3「胤統が例を」と埋木)(C)とがある。①は、第二次改修本。

2 愛護稚名歌勝鬨

①912.4.A24-ロ (039336) 七行B：【天満屋①】

②912.4.A24-イ (082482) 十行A：【八文字屋八左衛門】

※①は改修板。初板は内題をもたないが、これに埋木したもの。

3 赤松円心緑陣幕

①912.4.A31 (091146) 十行A：菱屋治兵衛(京)

4 悪源太平治合戦

①912.4.A39 (058231) 七行A：正本屋九左衛門(大)

5 芦屋道満大内鑑

①912.4.A96-ロ (082505) 七行A：奥付欠。

②912.4.A96-ハ (039584) 七行C：【加島屋①】

③912.4.A92-イ (039584) 七行C：奥付欠。

※同作七行本に、初板(終丁丁付「大内九十四了」と再板(終丁丁付「芦屋九十七納」。内題の上方に「再版」とある)がある。また初板には、未改修板(九十才5「近郷の」に振り仮名がある)と、改修板(振り仮名がない。一部の板木を差し替えたもの)もある。①は初板未改修板。②③は再板。

6 安倍晴明倭言葉

①912.4.A12 (042242) 七行A：【山本九右衛門②】

7 粟島譜嫁入雛形

①912.4.A97 (092993) 七行A：【山本九右衛門①】

8 伊賀越道中双六

①912.4.I22-イ (040359) 七行A：【加島屋①】

②912.4.I22-ロ (039335) 七行A：奥付欠。

9 伊賀越乗掛合羽

①912.4.I22-イ (040358) 七行A：【佐々井治郎右衛門】

②912.4.I22-ロ (082515) 七行A：【佐々井治郎右衛門】

10 伊勢平氏年々鑑

①912.4.169 (065627) 十行・菊屋七郎兵衛(京)

①912.4.13 (189170) 六行 B・佐々井治郎衛門

11 一谷嫩軍記

①912.4.116-ロ (039629) 七行 E:【紙屋与右衛門】

※同作六行本には、未改修本(八十二丁の次の丁付「本丁八十未刻」(A)、改修本(「本丁八十三」)(B)とがある。①は、改修本。

②912.4.19 (204536) 七行 E:【加島屋③】

②912.4.148-ロ (039587) 七行 B:【加島屋②】

③912.4.116-ハ (040338) 七行 E:奥付欠。

③912.4.148-ハ (082506) 七行 B:竹中清助(大)

④912.4.116 (093347) 十行 D:奥付欠。

④912.4.148-イ (082507) 十行 A:菊屋七郎兵衛(京)

⑤912.4.116-イ (082517) 十行 D:奥付欠。

⑤912.4.148-イ (082507) 十行 A:菊屋七郎兵衛(京)

※同作七行本には、初板(終丁丁付「一九十七」と、再板(「一百納」)(C)と、三板(「一百納」。終丁裏に「明和四年秋再板改正」とある)とがある。また初板には、未改修板(六十六オ5「敦盛の志にて」)(A)と、改修板(同「敦盛卿の志にて」)(B)がある。三板には、未改修板(内題右肩に年記「明和四年丁亥秋改」とある)(D)、改修板(内題右肩の年記を削る)(E)がある。①③は、三板改修板。

14 いろは蔵三組盆

①912.4.166-ロ (040398) 七行 A:鱗形屋孫兵衛(江)

伝法屋吉九郎(大) 七行 A:奥付欠。

②912.4.166-イ (082516) 七行 A:奥付欠。

同作十行本には、い本(「一七十内」。一四十八オ6「心ざしにて」)(A)、ろ本(「一七十納」。一四十八オ6「こゝろざしにて」)(B)、は本(「一七十軸」。一四十七ウ10「心ざしにて」)(C)、に本(「一谷七十軸」。一谷四十七ウ10「心ざしにて」)(D)、ほ本(「二谷七十納」。一谷四十八ウ1「心ざしにて」)。享和二年再刻本(「二谷七十納」。一谷四十八ウ1「心ざしにて」)。享和二年再刻本(E)、と本(享和二年再刻本の覆刻本。作者連名を削除)(F)がある。④⑤は、に本。

※同作七行本には、未改修本(二ウ7行末「金沢」の振り仮名「かなさは」)(A)、改修本(振り仮名「さは」のみ。一部板木差し替え)(B)とがある。①②は、未改修本。

12 糸桜本町育

15 絵本大功記

①912.4.E35-1 (082488) 七行 C:松本平助(江)

今井七郎兵衛(京)・玉置清七(大)

② 912.4.E35-イ (039624) 七行C：【加島屋③】

③ 912.4.E35-ロ (060608) 七行C：【加島屋③】

④ 912.4.E35-ハ (082486) 七行C：【加島屋③】

⑤ 912.4.E35-ニ (082487) 七行C：奥付欠。

※同作七行本には、初板(終丁丁付「太功百十五納」)と再板(終丁丁付「太功百十六納」)がある。また初板には、未改修板(巻末3丁丁付「太功百十四」「太功百十四」「太功百十五納」) (A)、第一次改修板(「太功百十三」「太功百十四」「太功百十五納」) (B)、第二次改修板(さらに従前の、作者署名「近松千葉軒」を、埋木で「千葉軒」と改める) (C) がある。①～⑤は、初板第二次改修板。

16 役行者大峰桜

① 912.4.E62 (040776) 七行A：【山本九右衛門②】

17 奥州安達原

① 912.4.O78-ハ (082490) 七行A：【山本九右衛門②】

② 912.4.O78-ニ (082491) 七行C：奥付欠。

③ 912.4.O78-イ (039593) 十行A：【鶴屋喜右衛門】

④ 912.4.O78-ロ (082489) 十行A：菊屋七郎兵衛(京)

※同作七行本には、初板(年記「宝暦十二年」云々)と再板(右に加えて「安政三年丙辰十月再刻」とある)とがある。また初板には、未改修板(貞任の息子の名前「千代童」) (A)、第一次改

修板(四十二ウ6のみ「千代童」、他は「清童」) (B)、第二次改修板(すべて「清童」) (C) がある。①は初板未改修板、②は初板第二次改修板。

18 応神天皇八白幡

① 912.4.O35 (040331) 七行A：奥付欠。

② 912.4.O35 (052813) 十行A：奥付欠。

19 近江源氏先陣館

① 912.4.O62-イ (082509) 七行C：【吉川宗兵衛】

② 912.4.O62-ロ (082510) 七行C：【吉川宗兵衛】

③ 912.4.O62-ハ (082511) 七行C：【吉川宗兵衛】

④ 912.4.O62-ニ (039625) 七行D：【天満屋②】

⑤ 912.4.O62-ホ (082513) 七行D：【加島屋①】

⑥ 912.4.O62 (082512) 十行A：菊屋七郎兵衛(京)

※同作七行本には、初板(内題の上方空白)と再板(内題の上方に「再版」とある) (D) がある。また初板には、未改修板(作者4人) (A)、第一次改修板(作者5人) (B)、第二次改修板(作者7人) (C) がある。①～③は初板第二次改修板、④⑤は再板。

20 大塔宮囃鑑

① 912.4.O1 (191973) 七行D：奥付欠。

※同作七行本には、未改修板(十三才4「語るも」)の節付「フ

シ) (A)、第一次改修板(「中フシ」。十三・十四丁板木差し替え) (B)、第二次改修板(さらに従前の、内題下「近松門左衛門添削」「作者 竹田出雲掾・松田和吉」を、埋木で「近松門左衛門添削」「作者竹田出雲」と改める) (C)、第三次改修板(「第三」板木新刻。従前の終丁丁付「曠八十八了」を、「曠九十八了」と改める) (D) がある。①は、第三次改修板。

21 大友皇子玉座靴
①912.4.086 (092987) 七行A::奥付欠。

22 小栗判官車街道
①912.4.026 (040402) 七行A::【加島屋①】

23 小田館双生日記
①912.4.017 (052176) 七行A::奥付欠。

24 男作五雁金
①912.4.086 (040775) 十行A::奥付欠。

25 小野道風青柳硯
①912.4.31 (195789) 七行B::【加島屋①】

②912.4.067-イ (082508) 十行A::奥付欠。

③912.4.062-ロ (039599) 十行A::【八文字屋八左衛門】

※同作七行本には、初板(廿二ウ1標題「第式」の下空白) (A)

と再板(廿二ウ1標題「第式」の下に、初段末の本文がある) (B) とがある。①は、再板。同作十行本には、い本(終丁丁付「道七十畢」) (A) と、ろ本(道七十) (B) の二種がある。②③は、い本。

26 音曲莠宝蔵
①912.4.065 (03579) 十一行A::奥付欠。天満屋
玉水源二郎 (大)

27 音曲待兼山
①912.4.065 (082514) 十一行E::糸屋市兵衛 (大)

28 女鉢の木
①912.4.066 (083099) 七行B::奥付欠。

※内題「女鉢の木 最明寺殿道行」とある七行本には、終丁丁付「女鉢木十五了」本 (A) と、終丁丁付「はちの木十五」本 (B) とがある。①は後者。

A本の題簽に、「女はちの木 竹本義太夫」、①の題簽に、「女鉢木 道行ゆきの段」とあって、いずれも竹本座紋を掲げる。『最明寺殿百人上臈』下巻の、抜き本。

29 娥歌かるた
①912.4.Ka61 (040365) 七行A::【山本九右衛門①】

30 加賀国篠原合戦

① 912.4-Ka16 (039633) 十行 A : 菊屋七郎兵衛 (京)

31 加々見山廓写本

① 912.4-Ka16 (040337) 七行 A : 奥付欠。

32 重井筒

① 912.4-Ka72 (058234) 六行 A : 奥付欠。

※『心中重井筒』の改題本。宝永四年末初演『心中重井筒』の山本板初板は、八行本(終丁丁付「井三十二了」)。まず享保十八年七月再演興行時『重井筒容鏡』と改題、次いで延享三年五月再演興行時『追善重井筒』と改題された(いずれも改題本残存)。のち安永四年九月再演のころ、当時板株を所有していた玉水源次郎によって六行本が開板された。

33 敵討優曇華龜山

① 912.4-Ka82 (058220) 七行 A : 【加島屋③】

34 敵討崇禅寺馬場

① 912.4-Ka82 (040380) 七行 A : 奥付欠。

35 敵討檻樓錦

① 912.4-Ka82 (058229) 七行 A : 【山本九右衛門②】

36 桂川連理柵

① 912.4-Ka88 (039583) 七行 A : 【佐々井治郎右衛門】

37 仮名手本忠臣蔵

① 912.4-Ka43-7 (039596) 七行 D : 【吉川宗兵衛】

② 912.4-Ka43-11 (083996) 七行 D : 山本九兵衛 (京)・鱗形屋孫兵衛 (江)・天満屋源治郎 (大)・吉川宗兵衛 (大)

③ 912.4-Ka43-10 (082583) 七行 D : 奥付欠。

④ 912.4-Ka43-8 (082617) 七行 E : 【加島屋②】

⑤ 912.4-Ka43-11 (085738) 七行 E : 【加島屋②】

※同作七行本には、初板(終丁丁付「忠九十九畢」。「忠六十九陰刻」(A)、大坂再板(終丁丁付「忠九十九畢」。「忠六十九陽刻」(B)、大坂三板(終丁丁付「忠臣九十九畢」)。道行「水口の」の節付と振り仮名 : 「中ウキン」「みなくち」。内題の上方に「再板」とある(D)、大坂四板(終丁丁付「忠臣九十九畢」。道行「水口の」の節付と振り仮名 : 「中ウキ」「みなくち」。内題の上方に「再板」とある。嘉永三年再刻(E)、江戸再板(「忠九十九押」。内題の上方に「改写」とある(C)とがある。①~③は、大坂三板、④⑤は大坂四板。

38 釜淵双級巴

① 912.4-Ka31 (052175) 六行 A : 奥付欠。

39 鎌倉大系図

①912.4-Ka31 (058225) 十行 A : 【山本九右衛門②】

40 鎌倉三代記

①912.4-Ka31 (076576) 七行 C : 奥付なし。

※天明元年三月江戸肥前座初演。角書「源頼家・源実朝」。享保元年正月初演大坂豊竹座初演（紀海音作）とは別物。

※同作七行本には、未改修板（七十一ウ6「隠し忍に」）（A）と、改修板（同「隠す刃に」）。その他、埋木して節付を施す）とがある。また改修板には、後ろ見返しに奥付をもつ本（通常の体裁）（B）と、終丁表を後ろ見返しとして、終丁裏（「浄瑠璃役割」）を前見返しに置く無刊記本（C）とがある。①は、改修板（無刊記本）。

41 紙子仕立両面鑑

①912.4-Ka37 (040356) 七行 A : 【正本屋小兵衛】

42 唐土織日本手利

①912.4.07 (193681) 七行 A : 奥付欠。

43 韓和聞書帖

①912.4.02 (183928) 七行 A : 今井七郎兵衛（京）・

八木治兵衛（京）・前川六左衛門（江）・玉水源治郎（大）

44 荻萱桑門築紫髻

①912.4-Ka69.ロ (040327) 七行 A : 鶴屋喜右衛門（京）

は他本の奥付。

②912.4-Ka69.ハ (084004) 七行 A : 奥付欠。

③912.4-Ka69.イ (040327) 七行 C : 奥付欠。

※同作七行本には、初板（終丁丁付「荻九十一」）と再板（「荻九十三畢」。内題の上方に「再版」とある）（C）とがある。また初板には、未改修板（内題下「作者 並木宗輔・並木丈輔」）（A）、改修板（内題下「座本豊竹越前少掾」と埋木）（B）がある。①②は初板未改修板。③は再板。

45 官軍一統志

①912.4-11 (183940) 七行 A : 奥付欠。

46 祇園祭礼信仰記

①912.4-G47 (083346) 七行 A : 【西沢九左衛門】

②912.4-G47.イ (040778) 七行 C : 奥付欠。

③912.4-G47.ロ (082591) 七行 C : 奥付欠。

④912.4-G47.ハ (039594) 七行 D : 【西沢九左衛門】

⑤912.4-G47.ホ (082590) 七行 D : 奥付欠。

⑥912.4-G47.ヘ (040341) 七行 D : 奥付欠。

⑦912.4-G47.ニ (098475) 七行 E : 【加島屋③】

⑧912.4-G47.ヒ (082589) 七行 E : 加島清助（大）

⑨912.4-G47.フ (082588) 七行 E : 奥付欠。

⑩912.4.G47.1 (082587) 七行E：奥付欠。

※同作七行本には、初板（巻末3丁付「祇百ノ百二」「祇百二」「祇百三終」、再板（「祇百ノ三」「祇百四」「祇百五全」。内題の上方に「再・板」とある）、三板（「祇百ノ壱」「祇百ノ二」「祇百三終」。内題の上方に「再・板」とある）とがある。また初板には、初刷・貼紙改訂本（内題「祇園祭礼信長記」を、貼紙「信仰記」で改訂。廿五ウ6「誉ぞと勇心や」節付：「キンハル」(A)、第一次改修本（廿五ウ6節付：「キン」。同丁板木差し替え。ただし初刷の改訂箇所は、墨洩すのみ）(B)、第二次改修本（廿五ウ6節付：「キン」。初刷の改訂箇所を、埋木で改修）(C)がある。再板は、初板第二次改修本の覆刻本（D）。三板は、初板貼紙改訂本の覆刻本（E）。①は、初板貼紙改訂本。②③は、初板第二次改修本。④⑤⑥は、再板。⑦⑧⑩は、三板。

47 祇園女御九重錦

①912.4.10 (193678) 七行A：奥付欠。

②912.4.小番号なし (177702) 十行A：【鶴屋喜右衛門】

48 義士の書添

①912.4.12 (183931) 七行A：【加島屋③】

49 岸姫松轡鑑

①912.4.Ki58 (040367) 七行C：【加島屋③】

※同作七行本には、初刷・貼紙改修板（四オ7「天下の」を、貼

紙「味方」で改訂）(A)、貼紙・一部埋木改修板（九十三オ7・九十四ウ4の「丹後」を、埋木で「若狭」と改訂）(B)、埋木改修板（従前のすべてを埋木）(C)がある。①は、埋木改修板。

50 楠音嘶

①912.4.Ku97 (039581) 七行A：【山本九右衛門①】

②912.4.43 (195122) 十行A：奥付欠。

51 久米仙人吉野桜

①912.4.Ku37 (039623) 十行A：玉水源治郎（大）・

今井七郎兵衛（京）

52 軍衛出口柳

①912.4.G94 (040361) 十行A：【菱屋治兵衛】

53 軍法富士見西行

①912.4.G94.1 (040399) 七行A：【山本九右衛門①】

②912.4.G94.口 (082586) 七行A：【加島屋②】

③912.4.G94.ハ (082585) 七行A：【加島屋②】

54 傾城阿古屋の松

①912.4.Ke27 (039337) 七行A：奥付欠。

55 傾城阿波の鳴門

①912.4K.e27 (053719) 十行A：菊屋七郎兵衛(京)

56 粧水絹川堤

①912.4-38 (209231) 十行A：【鶴屋喜右衛門】

57 兼好法師物見車

①912.4-32 (199395) 八行A：奥付欠。

58 源平布引滝

①912.4G34-ロ (040326) 七行A：【山本九右衛門②】
 ②912.4G34-イ (082592) 七行A：【山本九右衛門②】
 ③912.4G34-ニ (098478) 十行A：【八文字屋八左衛門】
 ④912.4G34-ハ (082593) 十行A：菱屋治兵衛(京)

59 源平鴨鳥越

①912.4G34 (058216) 七行A：【正本屋小兵衛】

60 恋女房染分手綱

①912.4K.o32-イ (098479) 七行B：奥付欠。
 ②912.4K.o32 (040329) 七行B：【山本九右衛門②】

※同作七行本には、未改修板(七十丁丁付の枠・飾り野)(A)、第一次改修板(七十丁丁付の枠・飾りなし(ただの長方形)。一部板木差し替え)(B)、第二次改修板(従前の「由留木」を、埋木で「結城」と改訂)(C)とがある。①②は、第一次改修板。

61 恋八卦柱曆

①912.4T.o29 (092992) 七行A：奥付欠。

※正徳五年春初演『大経師昔曆』七行本初板の、改題本(元文五年十一月の改題再演興行時の埋木改訂)。

62 極彩色娘扇

①912.4G59-イ (066089) 七行A：奥付欠。
 ②912.4G59-ハ (083997) 七行A：奥付欠。
 ③912.4G59-ニ (098480) 七行A：奥付欠。
 ④912.4G59-ロ (077553) 七行A：【山本九右衛門②】
 ⑤912.4K.o26⑩ (065979) 十行A：奥付なし。

※⑤は、「第四 心齋橋の段」(十六丁裏〜廿五丁裏まで)一段を、抜き刷りしたもの。十六丁表に当る空白部分中央に、同作十行本の題簽「菊屋七郎兵衛板」とある)を刷り付ける。おそらくは、無表紙/仮綴じ体裁で刊行されたもの(本来、奥付は無かった)と思われる。

通常、抜き本は、新たに板木をおこす。既刻の通し本(いわゆる丸本)の板木を抜き刷りするのは、多くは、道行集(いわゆる段物集)へ提供するためであるので、抜き本として単行された例は、極めて珍しい。

既刻の通し本の抜き刷り単行の例を、これまで神津は、『役行者大峰桜』(松竹大谷図書館78.42.T.a59-イ(82791)、『三荘大夫

五人嬢」(松竹大谷図書館768.42-Ta59-1 (82790)、『曾我五人兄弟』(早稲田大学演劇博物館110-520)、『百日曾我』(早大演博11-77)、『宵庚申』(早大演博110-524)、『吉野都女楠』(早大演博110-521)の、六点を確認していたが、すべて大字七行本であった。⑤は、中字十行にみる、はじめての例である。
なお「172 本朝廿四孝」の⑦も同様の体裁。

63 国性爺合戦

① 912.4-K052-1 (039589) 七行B：【山本九右衛門②】
 ② 912.4-K052-1 (082575) 七行D：【加島屋①】
 ③ 912.4-K052-1 (082574) 七行E：奥付欠。
 ④ 912.4-K052-1 (082576) 十行C：【鶴屋喜右衛門】
 ※同作七行本には、山本板初板(「国九十」)(A)、山本板再板(「大明百三終」、他書肆板い本(板心「国」「九十終」)(E)、他書肆板ろ本(板心「こく」「九十一」)(F)とがある。また山本板再板には、未改修板(「きうせんさん」(大明七十九オ1) 10丁)(B)、第一次改修板(「きうせんざん」(九仙山一オ1) 9丁に板木を差し替える)(C)、第二次改修板(元に戻した板)(D)がある。①は、山本板再板(未改修板)。②は、山本板再板(第一次改修板)。③は、他書肆板い本。
 同作十行本には、江戸板(「国五十三」の次が終丁)(A)、上方板(「国三十六終」)(B)、京都板(「国六十四了」)(C)がある。④は、京都板。

64 後三年奥州軍記

① 912.4-G69 (040332) 七行A：奥付欠。

65 御所桜堀川夜討

① 912.4-G69-1 (084005) 七行A：奥付欠。
 ② 912.4-G69 (040348) 七行A：【山本九右衛門①】

66 古戦場鐘懸の松

① 912.4-K083-1 (039590) 七行C：【山本九右衛門②】
 ② 912.4-K083-1 (083995) 七行C：【山本九右衛門②】
 ③ 912.4-K083 (091147) 七行C：奥付欠。
 ※同作七行本には、未改修板(四十五ウ5・六十五ウ4とも「將軍」)(A)、第一次改修板(四十五ウ5「大将」と埋木。六十五ウ4は「將軍」のまま)(B)、第二次改修板(四十五ウ5・六十五ウ4とも埋木で「大将」と改訂)(C)がある。①③は、第二次改修板。

67 小袖組貫練門平

① 912.4-K088-1 (040767) 七行A：奥付欠。
 ② 912.4-K088-1 (082382) 七行A：【山本九右衛門②】

68 碁太平記白石噺

① 912.4-26 (205496) 七行B：西宮新六(江)
 ② 912.4-G71 (040347) 七行D：佐々井治郎右衛門

(大)・榎並屋久藏(大)・西宮新六(江)

※同作七行本には、初板(六十五ウ5「旅人の」の「の」にキズがある)と、再板(六十五ウ5「の」にキズがない)とがある。また初板には、未完本(本文「第八」まで)(A)と、完本(本文「第十一」)(B)がある。再板には、未改修本(初板と同じく、年記「安永九年」云々とある)(C)と、改修本(埋木で「弘化三年丙午九月再板」と改める)(D)とがある。①は、初板完本。②は、再板改修本。

69 五天竺

① 9124G71 (052174) 七行A：奥付欠。

70 木下蔭狭間合戦

① 9124K078-1 (082580) 七行A：奥付欠。
 ② 9124K078-2 (082581) 七行A：奥付欠。
 ③ 9124K078-3 (082578) 七行A：佐々井治郎衛門(大)・西宮新六(江)・山崎金兵衛(江)・鱗形屋孫兵衛(江)

④ 9124K078-4 (039598) 七行A：③と同じ
 ⑤ 9124K078-5 (082579) 七行A：③と同じ
 ⑥ 9124K078-6 (084003) 七行A：③と同じ

※⑥には、次に掲げる各行の冒頭に朱筆の書き込みがある。木下壱才二行目(「発端壱之巻」)「巻太夫・卯之助・さと大夫・金造・木々大夫・鶴吉・八木大夫・虎吉」、三ウ六行目「為太夫・

新太郎」(「弐之巻」)、五才三行目「志賀太夫・小四郎」、六ウ五

行目「由良太夫・八十松」、七ウ七行目(「三之巻」)「嶋太夫・富三郎」、九ウ一行目「三根大夫・辰造」、十五ウ一行目「むら太夫・仙右衛門。かわり役・由良太夫・八十松」(四之巻)、三十七才一行目「由良太夫・八十松」(ただし朱線消し。「六之巻次編五冊」、四十才一行目「由良太夫・八十松」、四十五ウ一行目(「七之巻」)「三根太夫・辰造」、四十八才六行目「むら太夫・仙右衛門」、六十二ウ七行目「久太夫・清五郎」(九之巻)とある。これらの書き込みは、天保五年二月十三日初日、大坂いなり社内芝居興行時の配役と推定される。

71 嬬山姥

① 9124K066 (087833) 七行A：奥付欠。
 ② 9124K066-1 (040325) 七行A：【天満屋②】
 ③ 9124K066-2 (082577) 七行A：【加島屋①】

※同作七行本には、山本板(終丁丁付「山姥七十六了」)(A)と、大坂・他書肆板(終丁丁付「板心」「山」「八十四」)(B)、京都・他書肆板(内題下「作者近松門左衛門」)(C)とがある。①③は、山本板。

72 姻袖鏡

① 912436 (195788) 七行A：奥付欠。
 ② 9124K078 (054679) 十行A：菱屋治兵衛(京)

最明寺殿百人以上臈 ↓ 「28 女鉢の木」ヲミヨ

78 三国無双奴請状

①912.4.S63 (053720)

七行 A : 【佐々井治郎右衛門】

73 相模入道千足犬

①912.4.S15 (040397) 七行 A : 【山本九右衛門①】

※同作七行本には、山本板(終丁丁付「さか九十一終」)(A)と、他書肆板(板心「千疋」「九十」)(B)とがある。①は、山本板。

※同作七行本には、未改修本(三十七ウ2「三千や」)(A)と、改修本(三十七ウ2「三千や」と埋木。同丁才4「根性相応」、オ7「守護神」、ウ「無益」に、振り仮名を埋木で追加)(B)とがある。①は、改修本。

74 桜御殿五十三駅

①912.4.S46 (040779) 七行 B : 【吉川宗兵衛】

※同作七行本には、「第十」の本文について、未改修本(A)、第一次改修本(貼紙で改訂)(B)、第二次改修本(埋木で改訂)(C)とがある。①は、第一次改修本。

79 三拾石燈始

①912.4.Sa64 (052173) 七行 A : 【天満屋③】

※同作は、宝暦十三年四月初演「新舞台咲分牡丹」興行で初演。段物集「新舞台咲分牡丹」冒頭に、「新舞台・式三番／三十石燈始 三番つゝき」(目録題)として、「壹番目」から「三番目」までが収められた。寛政四年五月、「第四」以下を加えて、再演。角書「源八涉・平太堤」。①は、寛政四年本。

75 桜姫賤姫桜

①912.4.S46 (091144) 十行 A : 菱屋治兵衛(京)

76 小夜中山鐘由来

①912.4.14 (183933) 十行 A : 【菱屋治兵衛】

80 三莊大夫五人嬢

①912.4.S66 (040350) 十行 A : 奥付欠。

77 三軍桔梗原

①912.4.S63 (062555) 七行 A : 奥付欠。

※同作七行本には、未改修板(終丁裏に「口上」がある)(A)と、改修板(終丁裏に「口上」がなく、替わって作者連名・年記がある)(B)とがある。①は、未改修板。

81 しきしま操軍記

①912.4.23 (183936) 七行 A : 【正本屋小兵衛】

82 躰方武士鑑

①912.4.Sh92 (065628) 七行 A : 【加島屋①】

83 持統天皇歌軍法

①912.4-24 (183934) 七行B：奥付欠。

※同作七行本には、未改修板(六十五オ7「忍びのの緒」(A)、改修板(六十五オ7「忍びの緒」(B)とがある。①は、改修板。

84 十二段

①912.4-195 (087836) 七行A：奥付欠。

85 崇徳院讃岐伝記

①912.4-Sh84 (053718) 七行A：奥付欠。

86 潤色江戸紫

①912.4-39 (209229) 十行A：鶴屋喜右衛門(京)

87 生写朝貞話

①912.4-Sh96-ロ (082669) 七行A：玉水源治郎(大)・

紙屋与右衛門(大)・平野屋茂兵衛(京)・松本平助(江)・綿屋喜兵衛(大)・加島屋清助(大)

②912.4-Sh96-イ (040351) 七行A：加島清助(大)

88 自来也物語

①912.4-153 (058236) 七行A：松本平助(江)・

天満屋安兵衛(大)

89 塩飽七島稚陣取

①912.4-04 (183929) 七行A：奥付欠。

90 新うすゆき物語

①912.4-Sh69 (039339) 七行A：【加島屋①】

心中重井筒 ↓「32 重井筒」ラミロ

91 心中紙屋治兵衛

①912.4-Sh63 (052171) 七行A：天満屋源治郎(大)・

鱗形屋孫兵衛(江)・伝法屋吉九郎(大)

※同作七行本には、未改修板(五十四丁丁付に枠がある)(A)と、第一次改修板(五十四丁丁付に枠がない。一部板木差し替え)(B)と、第二次改修板(内題下、従前の「竹本染太夫正章」の、「正章」を削除する)(C)とがある。①は、未改修本。

92 信州川中島合戦

①912.4-Sh83 (040364) 七行A：【山本九右衛門①】

②912.4-小番号なし (129868) 七行A：加島清助(大)

心中宵庚申 ↓「193 宵庚申」ラミロ

93 新版歌祭文

①912.4-Sh62-イ (040340) 七行A：奥付欠。

※安永九年九月初演。角書「おそめ・久松」。94とは別物。

①9124.Su56 (040328) 七行A：奥付欠。

94 新板歌祭文

①9124.Sh69 (058227) 七行A：西宮新六(江)・

菊屋七郎兵衛(京)・和多屋喜兵衛(大)

※文化元年八月初演。角書「増・補」。93とは別物。

95 神霊矢口渡

①9124.Sh69-イ (082670) 七行B：奥付欠。

②9124.Sh69-ロ (040400) 七行B：菊屋七郎兵衛(京)・

倉橋屋仁助(大)・綿屋喜兵衛(大)

※同作七行本には、初板(終丁丁付「矢口九十七大尾」)(A)と、再板(「矢口 納」)(B)とがある。①②は、再板。

96 菅原伝授手習鑑

①9124.Su28-イ (082668) 七行A：山本九兵衛(京)・

吉川宗兵衛(大)・鱗形屋孫兵衛(江)

②9124.Su28-ハ (098474) 七行B：【天満屋①】

③9124.Su28-ロ (039626) 七行B：【天満屋②】

※同作七行本には、初板(終丁丁付「手九十八終」)(A)と、再板(「菅原九十八納」)。また内題の上方に「再版」とある)(B)とがある。①は、初板。②③は、再板。

97 須磨内裏搦弓勢

98 須磨都源平躑躅

①9124.Su56 (040346) 七行A：奥付欠。

99 関取千両幟

①9124.Se41 (093943) 七行A：奥付欠。

②9124.Se41 (091145) 七行A：【天満屋①】

※同作七行本は、明和四年八月の同じ興行で、同時初演の『花車寿永春』とともに合刻され、初板された。のち初丁を新刻し、単行された。①②は、単行本。

100 摂州渡辺橋供養

①9124.Se88-ロ (082667) 七行A：奥付欠。

②9124.Se88-イ (039582) 十行A：奥付欠。

101 世話言漢楚軍談

①9124.Se97 (040768) 十行A：菱屋治兵衛(京)

102 千里竹雪曙

①9124.Se72 (058217) 七行A：佐々井治郎右衛門(大)

※寛政十年八月初演『千里竹雪曙』の、「六冊目」〜「八冊目」のみの本文を取める。当本のほか、日本女子大学本も残るが、同

作の完本の存在は確認されていない。

次に掲げる各行の冒頭に朱筆の書き込みがある。千里四十五才 2 「春・駒吉」(六冊目)、四十九ウ6 「弥・松雨齋」、五十七才 2 「坂・勝次郎」(七冊目)、五十七ウ7 「越」、六十一ウ4 「鐘」、六十四オ1 「磯」(八冊目)、六十九オ1 「麓・庄次郎」とある。また終丁裏「浄瑠璃太夫役割」各太夫名の左に、朱筆で三味線の書き込みがある。「春太夫」に「駒吉」、「弥太夫」に「松雨齋」、「坂太夫」に「勝次郎」、「越太夫」に「駒吉」、「鐘太夫」に「蟻八」、「磯太夫」に「文五郎」、「麓太夫」に「庄次郎」とある。

これらの書き込みは、寛政十年八月三日初日、初演興行時の配役を示すものと推定される。

103 相馬太郎孝文談

①912.4.S036 (040357) 七行A:【西沢九左衛門】

※同作七行本には、初板(内題上空白)(A)と、再板(内題の上方に「再・板」とある)(B)とがある。①は、初板。

104 曾我扇八景

①912.4.S025 (040342) 八行A:【山本九右衛門①】

②912.4.S026 (092988) 十一行A:【八文字屋八左衛門】

105 曾我虎が磨

①912.4.S025 (084923) 十行A:奥付欠。

※同作十行本には、山本板(終丁丁付「石うす四十二了」)(A)と、他書肆板(板心「磨」(卅八))(B)とがある。①は、山本板。

106 染模様妹背門松

①912.4.S036-17 (040355) 七行A:【正本屋小兵衛】

②912.4.S036-10 (082665) 七行A:【正本屋小兵衛】

③912.4.S036-2 (058224) 七行B:【加島屋③】

④912.4.S036-17 (082666) 十行A:【鶴屋喜右衛門】

※同作七行本には、初板(内題上空白)(A)と、再板(内題の上方に「再板」とある)(B)とがある。①②は、初板。③は、再板。

同作十行本には、京都板(「染模様三十六」)(A)、大坂板(「染三十四納」)(B)、くわえて「おそめ・久まつ/妹背門松」と改題した本・京都鶴屋板(「おそめ卅六納」)(C)とがある。④は、京都板。

107 大功艶書合

①912.4.Ta22 (092995) 七行A:【本屋卯之助(大)・

前川六左衛門(江)・菊屋七郎兵衛(京)・和泉屋善

兵衛(大)

108 大内裏大友真鳥

①912.4-D15 (040396) 七行 A : 【山本九右衛門②】

109 太平記菊水之巻

①912.4-Ta22-1 (039628) 七行 A : 【山本九右衛門②】

②912.4-Ta22-2 (082953) 七行 A : 【山本九右衛門②】

③912.4-22 (183939) 十行 A : 奥付欠。

※同作七行本には、初板(終丁付「菊九十八納」)(A)と、再板(「改「菊九十八納」」。内題の上方に「再・版」とある)(B)とがある。①②は、初板。

110 太平記忠臣講釈

①912.4-Ta22-1 (082950) 七行 B : 奥付欠。

②912.4-Ta22-1 (082949) 七行 B : 【吉川宗兵衛】

③912.4-Ta22-2 (040780) 七行 C : 【天満屋①】

④912.4-Ta22 (093345) 七行 C : 【加島屋①】

⑤912.4-Ta22-1 (082951) 十行 A : 奥付欠。

⑥912.4-Ta22-1 (082952) 十行 A : 【菱屋治兵衛】

⑦912.4-Ta22-1 (039627) 十行 A : 菊屋七郎兵衛(京)

※同作七行本には、初板(内題上空白)と、再板(内題の上方に「再板」とある)(C)とがある。また初板には、内題下「伊豆掾」・作者連名「伊豆」を、貼紙で「文吉」と改める本(A)、埋木で改める本(B)とがある。①②は、初板埋木本。③④は、再板。

111 太平鳴戸の船謡

①912.4-Ta22 (062553) 七行 A : 佐々井治郎右衛門

(大)・西宮新六(江)・鱗形屋孫兵衛(江)

112 平惟茂凱陣紅葉

①912.4-03 (183830) 七行 A : 【山本九右衛門②】

113 伊達競阿国戯場

①912.5-D65 (005592) 七行 C : 中川藤四郎(京)・

丁子屋平兵衛(江)・藤屋宗太郎(大)・綿屋平兵衛

(大)・天満屋安兵衛(大)

※同作七行本には、未改修本(四十一才4「御声に絹川が。」)(A)、第一次改修本(四十一才4「御こへ耳に絹川か。」と埋木)(B)、第二次改修本(年記：従来の「三月廿一日」を、埋木で「正月二日」と改める。そのほか作者署名や本文を改める)(C)とがある。①は、第二次改修本。

114 玉藻前囃袂

①912.4-09 (193677) 七行 A : 【西沢九左衛門】

※宝暦元(寛延四)年正月初演。角書「那須野狩人・那須野獵師」。同作七行本の終丁丁付は、「玉百畢」。115とは別物。

115 玉藻前囃袂

①912.4-Ta78-1 (039631) 七行 A : 奥付欠。

②912.4.Ta78-ロ (040363) 七行A：【天満屋③】
 ※文化三年三月初演。角書「絵本・増補」。同作七行本の終丁丁
 付は、「玉九十七華」。114とは別物。

116 田村磨鈴鹿合戦

①912.4.Ta82 (058221) 七行A：加島清助(大)

117 壇浦兜軍記

①912.4.D38 (039600) 十行A：奥付欠。

118 近頃河原達引

①912.4.C43 (058228) 七行C：佐々井治郎衛門
 (大)・鱗形屋孫兵衛(江)

※同作七行本には、未改修本(年記「天明五乙巳年九月九日」)
 (A)、改修本(「己五月五日」)(B)、再改修本(元板に戻す)
 (C)とがある。①は、再改修本。

119 児源氏道中軍記

①912.4.C43 (052170) 七行A：奥付欠。

120 彫刻左小刀

①912.4.C53 (092996) 七行A：今井七郎兵衛(京)・
 西沢小兵衛(大)

121 蝶花形名歌島台

①912.4.C53 (040396) 七行A：奥付欠。

122 鎮西八郎誉弓勢

①912.4.I5 (183935) 七行A：【天満屋②】

123 摂津国長柄人柱

①912.4.Se94 (071980) 七行A：奥付欠。
 ②912.4.Se94 (052810) 十行A：菱屋治兵衛(京)

124 津国女夫池

①912.4.Ts83 (092989) 七行A：【山本九右衛門①】

125 角額嫉蛇柳

①912.4.Ts81 (058210) 七行A：鱗形屋孫兵衛(江)・
 阿波屋平七(大)

天智天皇↓「169 豊年秋の田」ヲミヨ

126 天神記

①912.4.Te36-ロ (040336) 六・七行A：奥付欠。
 ②912.4.Te36-ハ (039585) 十行A：奥付欠。
 ③912.4.Te36-イ (044559) 十行B：山木九兵衛(京)

※同作十行本には、終丁丁付「天五十三」終」とある本(A)、

「菅卅六了」本(B)とがある。②は、「天五十三」終」本。③は、「菅卅六了」本。

127 天智天皇蒞穗庵

①912.4.Te36 (092994) 七行A：【西沢九左衛門】

128 道中亀山嶽

①912.4.D81 (040395) 七行A：天満屋源治郎(大)・鱗形屋孫兵衛(江)・伝法屋吉九郎(大)

129 融大臣塩竈桜花

①912.4.T064 (058211) 七行B：【佐々井治郎右衛門】
※同作七行本には、未改修本(八十五ウ1「詔はぬ」に振り仮名がない)(A)と、改修本(八十五ウ1「詔はぬ」に振り仮名「へつら」と埋木)(B)とがある。①は、改修本。

130 殿造千丈嶽

①912.4.17 (199746) 七行A：奥付欠。

131 那須与市西海硯

①912.4.N56 (058212) 十行A：奥付欠(別本の奥付【吉川宗兵衛】をもつ)

※同作十行本には、終丁丁付「なす六十八了」とある本(A)、「那七十了」本(B)とがある。①は、「なす六十八了」本。

132 夏祭浪花鑑

①912.4.N58-ロ (082944) 七行A：奥付欠。
②912.4.N58-ハ (082945) 七行B：奥付欠。
③912.4.N58-イ (040401) 七行B：【天満屋②】

※同作七行本には、「第七」いわゆる「長町裏」義平次の太夫指定を、「百合」とする本(未改修板)(A)と、「錦」とする本(改修板)(B)とがある。「錦」は、宝暦五年七月「庭涼操座舖」興行での、部分再演時の配役。段物集「庭涼操座舖」への板木流用の際、改修された。①は、未改修板。②③は、改修板。

133 日蓮記児硯

①912.4.N71 (054680) 七行A：近江屋藤兵衛(江)
※延享四年十月初演『いろは日蓮記』の改題本。

134 日蓮聖人御法海

①912.4.N71-ロ (082948) 七行B：万屋仁右衛門(京)・正本屋清兵衛(大)

②912.4.N71-イ (040352) 七行B：【天満屋③】
③912.4.N71-ロ (082946) 七行B：【天満屋③】
④912.4.N71-ハ (082947) 七行B：【紙屋与右衛門】

※同作七行本には、未改修本(作者連名二人目「安田蛙桂」と(A)、改修本(「並木正三」)(B)とがある。①④は、改修本。なお現在、宝暦元年十月初演の同作をもって、浄瑠璃作者「並

木正三」の初出と考えられているが、疑問。次の、十二月初演『二谷嫩軍記』をその初出とすべきであろう。

135 日本賢女鑑

①912.4.N77 (058233) 七行A：竹中清助(大)

※同作七行本には、初板(挿絵なし)(A)と、再板(本文を覆刻。挿絵を加え、五分冊したもの)(B)とがある。①は、初板。

136 庭涼座舗操

①912.4.N89 (062554) 七行A：【山本九右衛門②】

137 箱根靈験壁仇討

①912.4.H18-1 (039597) 七行A：松本平助(江)・紙

屋与左衛門(大)・今井七郎兵衛(京)・菱屋治兵衛(京)・鶴屋喜右衛門(京)・柏屋宗七(京)・吉野屋勘兵衛(京)・松屋清助(京)

②912.4.H18-ロ (083142) 七行B：①の「松屋清助(京)」を、「綿屋平兵衛(大)・綿屋喜兵衛(大)」とする組み合せ。

138 八陳守護城

①912.4.H11-1 (040324) 七行A：松本平助(江)・

今井七郎兵衛(京)・玉置清七(大)

②912.4.H11-ロ (083141) 七行C：奥付欠。

③912.4.42 (040324) 七行C：西沢九左衛門(大)・

松本平助(江)・今井七郎兵衛(京)・八木治兵衛(京)・玉置清七(大)

※同作七行本には、未改修本(二十の次の丁付「八二十一」、五十九の次の丁付「八十六」)(A)、第一次改修本(「八二十一」のまま。「八六十」と埋木)(B)、第二次改修本(「八二十巻」と板木差し替え。「八六十」)(C)とがある。①は、未改修本。②③は、第二次改修本。

139 艶容女舞衣

①912.4.H11 (058230) 七行A：奥付欠。

140 花筏巖流島

①912.4.H27 (052167) 七行A：正本屋九左衛門(大)

※延享三年十一月初演。角書「月本鍵梅・幸崎鬼移」。文化七年九月初演「花筏巖流島」(角書なし)とは別物。

141 花軍寿永春

①912.4.H27 (052169) 七行B：【天満屋②】

※99備考参照。単行本(後刷)。

142 競伊勢物語

①912.4.25① (205495) 七行A：奥付なし。

②912.4.06 (193679) 七行B：溝口治郎右衛門(大)

- ③ 912.4.25② (205495) 七行 B : 溝口治郎右衛門(大)
 ④ 912.4.H11 (040335) 七行 B : 溝口治郎右衛門(大)

※安永四年四月大坂・中の芝居の、歌舞伎興行で初演。同作七行本は上下二冊で刊行された。①は、上巻。②～④は、下巻。

因みに、浄瑠璃での初演は、同年八月。浄瑠璃では、『増補競伊勢物語』(内題)一冊本が刊行された。

143 花系図都鑑

- ① 912.4.H27 (077554) 十行 A : 奥付欠。
 ② 912.4.H27 (052811) 十行 A : 菊屋七郎兵衛(京)

144 花衣ころは縁起

- ① 912.4.H27 (058237) 七行 A : 【天満屋②】

145 花襷会稽掲布染

- ① 912.4.H27 (040360) 七行 A : 【正本屋小兵衛】
 ② 912.4.H27 (087834) 七行 A : 【加島屋③】

146 花魁奢八絛

- ① 912.4.H27 (058219) 七行 B : 丁子屋平兵衛(江)・河内屋長兵衛(大)・綿屋喜兵衛(大)・菊屋七郎兵衛(京)・鶴屋喜右衛門(京)・柏屋宗七(京)・吉野屋勘兵衛(京)・菱屋治兵衛(京)・平野屋茂兵衛(京)・大文字屋得五郎(京)

※同作七行本は、「前咲」上下、「後咲」上下の、四冊から成る。①は、「前咲」下巻。

147 花上野誓の石碑

- ① 912.4.H27 (052168) 七行 B : 小山屋吉兵衛(江)・山口屋又市(大)・大坂屋秀八(江)

- ② 912.4.20 (204535) 七行 D : 佐々井治郎右衛門(大)・西宮新六(江)・石渡利助(江)

※同作七行本には、初板(四ウ7「押とゞめ」の節付「色」に、キズがある)と再板(キズがない)とがある。また初板には、未完改修本(内題下作者署名。終丁丁付「上野八十一納」)(A)、未完改修本(内題下座本署名)(B)、完本(終丁丁付「上野百六納」)(C)とがある。再板には、未分冊本(「第八」標題・冒頭の本文がある)(D)、二分冊本(初板未完改修本相当分を上巻、以下を下巻とする。この際、上巻終丁裏にあった「第八」標題・冒頭の本文を削った)(E)、合冊本(上下を合わせ、再び一冊とした。「第八」標題・冒頭の本文がない)(F)とがある。①は、初板未完改修本。②は、再板未分冊本。

148 花雲佐倉曙

- ① 912.4.H27 (066087) 七行 A : 奥付欠。
 ② 912.4.H27 (066088) 七行 B : 和泉屋市兵衛(江)・菊屋七郎兵衛(京)・加島屋清助(大)・本屋清七(大)・榎並屋久藏(大)・綿屋喜兵衛(大)

※同作七行本は、当初上下二冊で刊行されたが、のちに一冊本として出た。①は、上巻。②は、下巻。

149 孕常盤

①912.4.H32 (040769) 七行 A : 奥付欠。

※同作七行本には、山本板(終丁丁付「孕八十了」) (A) と、他書肆板(板心「孕三十三」) (B) とがある。①は、山本板。

150 繁花地男鑑

①912.4.08 (193680) 七行 A : 【天満屋①】

151 播州皿屋舗

①912.4.B19 (058222) 七行 A : 加島清助 (大)

152 番場忠太紅梅籠

①912.4.B17 (039591) 七行 B : 【正本屋小兵衛】

※同作七行本には、未改修本(年記「蛾月」) (A) と、改修本(「臘月」。偏の「虫」を、「月」と埋木) (B) とがある。①は、改修本。

153 彦山権現誓助剣

①912.4.H57.ロ (083145) 七行 A : 奥付欠。

②912.4.H57.イ (039630) 七行 A : 【天満屋②】

③912.4.H57.ハ (083144) 七行 A : 【天満屋②】

154 日高川入相花王

①912.4.H54.ロ (083143) 七行 A : 【山本九右衛門②】

②912.4.H54.ハ (083568) 七行 A : 山本九葉亭 (大) ・

玉水源治郎 (大) ・ 今井七郎兵衛 (京) ・ 松本平助

(江) ・ 紙屋与右衛門 (大)

③912.4.H54.イ (039588) 十行 A : 【菱屋治兵衛】

155 人丸万歳台

①912.4.H77 (092997) 七行 A : 【西沢九左衛門】

156 姫小松子日の遊

①912.4.H59.イ (040366) 七行 A : 【山本九右衛門②】

②912.4.H59.ハ (084001) 七行 A : 【山本九右衛門②】

③912.4.H59.ロ (053721) 七行 B : 【加島屋①】

※同作七行本には、初板(十七オオ「暇」、同オ4「幸イ」に振り仮名がある) (A) ・ 再板(振り仮名がない) (B) とがある。①②は、初板。③は、再板。

157 日吉丸二度清書

①912.4.37 (189167) 七行 A : 松本平助 (江) ・

大津屋治郎右衛門 (大) ・ 天満屋安兵衛 (大)

158 日吉丸稚桜

①912.4.H79 (052166) 七行 A : 奥付欠。

159 比良嶽雪見陣立

①912.4.H63 (058214) 七行 A : 【天満屋②】

160 ひらかな盛衰記

①912.4.H63-ハ (098477) 七行 B : 加島清助 (大)

②912.4.H63-ロ (063964) 七行 B : 玉水源治郎 (大)・

紙屋与右衛門 (大)・平野屋茂兵衛 (京)・松本平助

(江)・綿屋喜兵衛 (大)・加島屋清助 (大)

③912.4.H63 (052490) 十行 A : 奥付欠。

※同作七行本には、初板(終丁丁付「盛九十三了」)(A)と、再板(「盛衰九十九治」)(B)とがある。①②は、再板。

十行本には、角書「逆槽松・矢箆梅」のない本、ある本とがある。また終丁丁付の異同で示すと、前者には、板心「盛」「七十治」本(A)、「盛六十二治」本(B)、「ひらかな七十」本(C)があり、後者には、無記載(前丁「盛六十九」本(D)、「ひらかな七十納」本(年記「寛政五年」再板の記載もある)(E)とがある。③は、角書なし・板心「盛」「七十治」本。

161 風俗太平記

①912.4.F99 (052809) 七行 A : 奥付欠。

162 藤原秀郷倭系図

①912.4.F68 (052814) 十行 A : 奥付欠。

②912.4.F68 (058226) 十行 A : 菊屋七郎兵衛 (京)

163 双生隅田川

①912.4.F97 (087835) 七行 A : 【山本九右衛門①】

164 双蝶蝶曲輪日記

①912.4.F97 (040362) 七行 A : 【山本九右衛門①】

②912.4.F97-イ (098473) 七行 A : 加島清助 (大)

165 振袖天神記

①912.4.F92-ロ (084006) 七行 A : 奥付欠。

②912.4.F92-イ (052172) 七行 A : 【吉川宗兵衛】

※同作七行本には、未改修本(四十七オ2「畜生ならすらず」)(A)と、改修本(「畜生ならしらず」)(B)とがある。①②は、未改修本。

166 武烈天皇纒

①912.4.29 (189397) 十行 A : 菊屋七郎兵衛 (京)

167 平家女護島

①912.4.H51 (052165) 七行 A : 【天満屋①】

168 北条時頼記

①912.4.H81-イ (039592) 七行 A : 正本屋九左衛門(大)

②912.4.H81-ロ (083146) 十行 A : 奥付欠。

※同作七行本には、初板(七オ4「桐が谷まで」の「桐」に、振

り仮名がない」と、再板（振り仮名がある）（C）とがある。また初板には、未改修本（内題下「作者 西沢一風・並木宗助」（A）と、改修本（内題下「作者西沢一風」と埋木）（B）がある。①は、初板未改修本。

169 豊年秋の田（内題「天智天皇」）

①912.4.Tc35 (063856) 七行B：【山本九右衛門①】
 ※同作は、正徳五年九月（前年に没した竹本筑後掾（初世義太夫）の一周忌追善興行）初演。元禄五年三月以前初演『天智天皇』を、一部改作したもの。山本板再板（七行本。初板は八行本）の板木を流用、一部板木を差し替えて成る。従来、『豊年秋の田』は、天理図書館本一点のみが知られていたが、このたび、当館にもう一点残ることが判った。

『豊年秋の田』は外題替（題簽のみ改題）で、内題は『天智天皇』。①は題簽を欠くため、内題をもとに整理・登録されていた。「第五」標題が、丁裏三行目にあるのが『天智天皇』、丁裏一行目にあるのが『豊年秋の田』の特徴である。

170 本田善光日本鑑

①912.4.33 (183937) 十行A：菊屋七郎兵衛（京）

171 本朝檀特山

①912.4.H84 (040345) 七行C：奥付欠。

※同作七行本には、未改修本（四十九才3「実父の小鳥に」、七

十ウ4「仰せに諸共」、七十九才4「わしがなりかはり」（A）と、第一次改修本（七十九才4「おれがなりかはり」と埋木。他は、そのまま）（B）と、第二次改修本（さらに四十九才3「又実父の小鳥に」、七十ウ4「仰せに親子」と埋木（C）とがある。①は、第二次改修本。

172 本朝廿四孝

①912.4.H84.4 (083149) 七行A：奥付欠。
 ②912.4.H84.ロ (040339) 七行A：【吉川宗兵衛】
 ③912.4.H84.ハ (083148) 七行A：【吉川宗兵衛】
 ④912.4.H84.ニ (083147) 七行A：【加島屋①】
 ⑤912.4.41 (083149) 七行A：【加島屋②】
 ⑥912.4.H84.イ (040321) 十行A：奥付欠。
 ⑦912.4.Ko26 (065979) 十行A：奥付なし。

※⑦は、「第三」前半（廿八丁裏～三十三丁裏。3行目の途中まで）、「桔梗が原」の段を、抜き刷りしたもの。廿八丁表に当る空白部分中央に、同作十行本の題簽（「菊屋七郎兵衛板」とある）を刷り付ける。無表紙／仮綴じ体裁で刊行されたもの（本来、奥付は無かった）と思われる。

本目録「62 極彩色娘扇」の⑤も、同様の体裁。通し本の抜き刷り単行の例については、「62 極彩色娘扇」備考参照のこと。

173 万戸將軍唐日記

①912.4.Ma43 (058332) 七行B：【加島屋③】

※同作七行本には、未改修本（「作者梁塵軒」）（A）と、改修本（「作者 浅田一鳥・但見弥四郎・梁塵軒」と埋木）（B）とがある。①は、改修本。

174 身替弭張月

① 912.4-M116 (058223) 七行A：奥付欠。

175 三日太平記

① 912.4-M124-ハ (083150) 七行A：奥付欠。
② 912.4-M124-イ (040354) 七行A：【吉川宗兵衛】
③ 912.4-M124-ロ (083151) 七行A：【加島屋①】
④ 912.4-M124-ニ (084000) 七行A：加島清助（大）

176 都鳥東古跡

① 912.4-40 (209230) 七行A：正本屋小兵衛（大）

※読本浄瑠璃。

177 昔男春日野小町

① 912.4-M125 (053717) 七行A：奥付欠。

178 名筆傾城鑑

① 912.4-Me24 (052812) 十行A：鶴屋喜右衛門（京）

179 伽羅先代萩

① 912.4-Me22 (040343) 七行B：大和屋吉兵衛（大）・小堀屋源助（大）・松本屋万吉（江）・上総屋利兵衛（江）

※同作七行本には、未完本（本文「第六」まで。「先代七十五」の次が終丁）（A）、完本（本文「第九」まで。「先代百六」）（B）とがある。①は、完本。

180 驪山比翼塚

① 912.4-18 (207117) 七行A：【佐々井治郎右衛門】

181 物くさ太郎

① 912.4-Mo35 (039622) 十行A：奥付欠。

182 艳狩劔本地

① 912.4-Mo24 (092991) 七行A：【吉川宗兵衛】

※同作七行本には、山本板（終丁丁付「平九十四終」）（A）と、他書肆板（「艳八十四了」）（B）とがある。①は、山本板。

183 八重霞浪花浜菰

① 912.4-Y14 (042241) 七行A：【紙屋与右衛門】

184 山城の国畜生塚

① 912.4-34 (183932) 七行A：奥付欠。

185 倭仮名在原系図

① 912.4.Y45 (039595) 十行 A : 奥付欠。

186 鐘の権三重帷子

① 912.4.Y95 (044560) 十行 A : 谷村清兵衛(京)

187 額緞紺屋譜

① 912.4.Y197 (055933) 七行 A : 藤井孫兵衛(京)・

八木治兵衛(京)・前川六左衛門(江)・西宮新六(江)・宮崎半兵衛(大)・武田宗輔(大)

188 有職鎌倉山

① 912.4.Y99-ロ (083302) 七行 B : 菊屋七郎兵衛(京)・

正本屋小兵衛(大)

② 912.4.Y99-ハ (083304) 七行 B : 菊屋七郎兵衛(京)・

正本屋小兵衛(大)

③ 912.4.Y99-ヘ (083303) 七行 C : 【加島屋③】

④ 912.4.Y99-キ (039586) 十行 A : 菱屋治兵衛(京)・

菊屋七郎兵衛(京)

※同作七行本には、初板(年記「寛政元己酉年」云々のみ)と、再板(右に加え、「寛政四壬子年秋再板」とある)(C)とがある。また初板には、未改修本(五十四ウ1「早五ツとせ。そなたも五ツ」)(A)と、改修本(早五ツ年セ其時生れたそなたも五ツ)(B)がある。①②は、初板改修本。③は、再板。

189 行平磯馴松

① 912.4.Y97 (052164) 七行 A : 奥付欠。

190 由良湊千軒長者

① 912.4.Y99 (040368) 七行 A : 奥付欠。

② 912.4.小番号なし (017703) 十行 A : 菊屋七郎兵衛(京)

191 百合稚高麗軍記

① 912.4.Y99 (058215) 七行 A : 正本屋九左衛門(大)

192 百合若大臣野守鏡

① 912.4.28 (189396) 八行 B : 正本屋善四郎(大)

※同作八行本には、山本板(終丁丁付「百合六十八了」)(A)と、他書肆板(板心「百合」「四十八」)(B)とがある。①は、他書肆板。

193 宵庚申

① 912.4.Y73 (082990) 七行 A : 奥付欠。

※「心中宵庚申」の「心中」を削った、改題本。

194 義経腰越状

① 912.4.Y92 (039632) 七行 B : 吉文字屋治郎兵衛(京)

※同作七行本には、未完本(「第三」まで。終丁丁付「腰六十」)

と、完本（「腰九十三畢」）とがある。また未完本には、未改修本（「腰四十二」丁付陰刻）（A）と、改修本（「腰四十二」丁付陽刻）がある。明和元年十二月初演『嬢景清八島日記』への、「第三三板木転用ののち、同段を補刻したのが、改修本（B）。なお完本は、未完改修本へ「第四」以下を補ったもの（C）。①は、未完改修本。

195 義経千本桜

① 912.4.Y92 (039340) 七行 B : 【山本九右衛門①】
 ② 912.4.27 (189165) 七行 C : 【山本九右衛門②】
 ※ 同作七行本には、初板（終丁丁付「千百終」）と、再板（「千百終」）とがある。また初板には、未改修本（九十ウ3「宿酬」の振り仮名「しゆくしう」）（A）、第一次改修本（九十ウ3「宿酬」の振り仮名「しゆくしう」）。板木差し替え）（B）、第二次改修本（従前の「釣瓶鮓やの弥左衛門」を、「釣瓶鮓。御鮓所の弥左衛門」と埋木）（C）とがある。①は、第一次改修本。②は、第二次改修本。

196 義仲勲功記

① 912.4.Y92.ロ (058213) 七行 A : 奥付欠。
 ② 912.4.Y92.ハ (083301) 七行 A : 【西沢九左衛門】
 ③ 912.4.Y92 (052827) 七行 C : 奥付欠。
 ④ 912.4.Y92.イ (040353) 七行 C : 奥付欠。
 ⑤ 912.4.Y92.ニ (098476) 七行 C : 加島清助（大）

※ 同作七行本には、初板（終丁丁付「義百大尾」）と、再板（「義百一大尾」）（C）とがある。また初板には、未改修本（作者連名「黒藏子」）（A）と、改修本（「黒藏主」）（B）がある。①②は、初板未改修本。③④⑤は、再板。

197 吉野都女楠

① 912.4.Y92.イ (039635) 七行 A : 【山本九右衛門①】
 ② 912.4.Y92.ロ (083300) 十一行 A : 奥付欠。

198 よみ売三巴

① 912.4.Y81 (058218) 七行 A : 【吉川宗兵衛】

199 蘭奢待新田系図

① 912.4.R15.ロ (083297) 七行 A : 奥付欠。
 ② 912.4.35 (189166) 七行 A : 【吉川宗兵衛】
 ③ 912.4.35.イ (204469) 七行 A : 【吉川宗兵衛】
 ④ 912.4.R15.イ (040322) 七行 A : 【吉川宗兵衛】
 ⑤ 912.4.R15.ハ (083298) 七行 A : 【吉川宗兵衛】

200 立春姫小松

① 912.4.16 (206380) 十行 A : 菊屋七郎兵衛（京）

201 和田合戦女舞鶴

① 912.4.W12.イ (040323) 七行 A : 正本屋九左衛門（大）

②912.4.W12-ロ (083299) 七行A：正本屋九左衛門(大)

③912.4.05 (189169) 七行B：【加島屋③】

※同作七行本には、未改修本(内題下「作者並木宗輔」)(A)と、改修本(内題下「座本豊竹越前少掾」と埋木)(B)とがある。

①②は、未改修本。③は、改修本。

【義太夫節以外の部】

1 〔逸題段物集〕

①768-B89 (084561)

十一行A：奥付欠。書題簽

〔豊後節段物集〕。

※「秋葉文庫」旧蔵本。

2 浮名の染色

①912.4.U59 (005539)

七行A：正本屋仁兵衛(大)

3 鶯宿梅

①768-O78 (043698)

横本十一行：奥付欠。

※「秋葉文庫」旧蔵本。根岸正海氏「千葉胤男(辻町)文庫の宮古路節段物集」(『演劇研究』第二十四号、早稲田大学演劇博物館、二〇〇一年三月所収)付載の、「宮古路節段物集一覽」で、「現在所在不明」とする「秋葉文庫」旧蔵の、「宮古路鶯宿梅」はこれカ。

4 熊井太郎孝行之巻

①912.4.Ku33 (039338)

十行C：奥付欠。

※終丁丁付「熊井卅五終」本。

5 げんじゑぼしをり・源氏ゑぼしおり

①912.4.小番号なし (129869)

十行D：奥付欠。

②912.4G34 (040349) 十行F：山木九兵衛(京)

※①は、内題「げんじゑぼしをり」、終丁丁付・板心「ゑほし折」
「四十」本。②は、内題「源氏ゑほしおり」、「ゑ二十五了」本。

①768-Mi76 (043699) 横本十一行A：奥付欠。糸

屋市兵衛(大)

※「秋葉文庫」旧蔵本。

6 塩竈大臣

①912.4Sh72 (040344) 八行A：木下甚右衛門(江)

12 宮園東大全

①768-Mi89-7 (005540) 六行A：奥付欠。

7 酒呑どうじ
①912.4Z1 (183938) 十行C：奥付欠。

※「秋葉文庫」旧蔵本。前述の、根岸正海氏「宮古路節段物集一覽」で、「現在所在不明」とする「秋葉文庫」旧蔵の、「宮園東大全」はこれカ。

8 増補宮園集都大全

①768-Mi89-ロ (004973) 六行A：奥付欠。

13 和国女眉間尺

①912.4W34 (040330) 八行A：奥付欠。

9 蝶の舎

①768-C53 (044850) 横本十一行A：奥付欠。

※「秋葉文庫」旧蔵本。

10 宮古路瑠桜

①768-Mi76 (043700) 横本十一行A：奥付欠。

※「秋葉文庫」旧蔵本。前述の、根岸正海氏「宮古路節段物集一覽」で、「現在所在不明」とする「秋葉文庫」旧蔵の、「宮古路玉瑠桜」はこれカ。

11 宮古路花筏